



吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第 14 号

令和6年1月10日 発行

文責 校長 竹並俊和

謹賀新年 3学期のスタートです。目標や決意を大切に！

新年、あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、3学期がスタートしました。生徒のみなさんには、2学期の終業式で2学期を振り返り、目標や決意を自分の中につけてくださいと伝えました。目標や決意を持って3学期を迎えてくれていることと思います。さて、ご存じのとおり、1月1日16時6分に能登地方を震源とする地震が起きました。また、1月2日には、被災地に救援物資を運ぼうとしていた海上保安庁の飛行機と日本航空の旅客機が羽田空港で衝突し海上保安庁の職員の方々5名がお亡くなりになりました。新年早々に痛ましい災害や事故が起きています。地震にかかる災害、事故等により、お亡くなりになられた方々へのご冥福をお祈りし、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。地震や津波などの自然災害は、時として、私たちの想像を超える力で襲ってきます。羽田空港での飛行機事故では、奇跡的に日本航空の旅客機に搭乗していた379名の乗員乗客全てのみなさんが助かりました。そこには、キャビンアテンダントの人たちの日常的な訓練と非常時の冷静な判断があったからと言われています。いざというときに備えた、非常時の訓練が役立ちます。誰も経験したことのない状況、想像もしない状況の時にも訓練や、訓練を通した予測や判断が、とても大切です。みなさんが持つこれからの防災について学び考える機会を大切にしていってください。そして、毎日普通に送れる日常生活を大切にしていってください。被災された方々に対し何ができるかについても今後一緒に考えていけたらと思います。

3学期が終われば、新たな学年のスタートとなります。3学期はそのための助走期間です。4月から頑張るのではなく、スタートを見据えて学年の最後の学期である3学期を充実したものにし、より高く遠くへ飛ぶために準備をしてください。みなさんの3学期の頑張りを期待します。

教育実習にみえた杉彩文海（すぎ・さふみ）先生2年連続箱根駅伝を走る！

1月2日から3日にかけて、第100回箱根駅伝が開催されました。6月に教育実習に来られた杉彩文海先生が、明治大学の選手として出場され、3区を走りました。杉先生は、昨年の箱根駅伝にも、明治大学の選手として7区を走り、見事区間賞をとられています。2年連続で箱根路を走られています。杉先生は、江南小から吉井中、鳥栖工業高校から明治大学に入り、長距離の選手として努力を重ね、箱根駅伝という大舞台で大活躍をされました。杉先生にとって箱根駅伝出場は、中学時代からの夢だったそうです。沿道からの歓声や選手一人一人の思いが他の試合よりも凄く、走っていることが幸せと感じたそうです。中学時代に夢見てから、箱根を走るまでの過程で得た経験や多くの人との出会いは何事にも変えられない宝物だと感じられています。中学生のみなさんに夢や目標に向かって挑戦してほしいとも言われました。私たちの身近な存在である杉先生が、全国の舞台で活躍をされていることは、私たちにとっても大きな力となります。また、日々の努力の積み重ねが自分自身の人生を前へ前へと大きく切り開いていくことを実感させてくれます。杉先生の今後の活躍を期待し、今後もみんなで応援していきましょう。これからのみなさん一人一人の日々の努力の積み重ねを見守ります。



1年1組で社会科の授業をされている杉彩文海先生

卒業生の方々より絵本を寄贈していただく

『ぼくはマハロ』 文 かじはらひでこ 絵 やまもとみなこ デザイン 岡野千晴

2学期の終わりに、本校卒業生のやまもとみなこさんが来校されました。やまもとさんからは、かじはらひでこさん、岡野千晴さんと一緒に作った絵本を図書館に寄贈していただきました。

かじはらさんは、小学校で養護教諭をされていましたが、大きな病気を患っていました。病状が治まったかじはらさんが絵本をつくりたい。絵本の絵をやまもとさんに、絵本のデザインを岡野さんにと頼まれ、3人で絵本をつくることを約束されたそうです。しかし、昨年の9月にかじはらさんが他界され、遺志を引き継いだ2人で絵本を仕上げたそうです。ぜひ、3人の母校である吉井中に寄贈したいとこの絵本を持ってきていただきました。図書館に置いています。ご覧ください。先輩方がつくられたこの絵本に多くの生徒のみなさんと出会ってほしいです。



